

# 介護保険施設等入所 (入居) 申込者状況調査 について

平成26年9月

函館市保健福祉部

## 目次

1	調査目的	1
2	調査方法	1
3	調査結果	2
4	緊急度別入所（入居）申込者数の推計	4
5	調査結果を踏まえた介護サービス基盤整備の考え方	5

## 1 調査目的

函館市の介護保険施設等における入所（入居）申込状況を把握し、第6期介護保険事業計画において適切な介護保険施設等の整備数量を見込むことを目的として、「介護保険施設等入所(入居)申込者状況調査」を実施しました。

## 2 調査方法

市内の各介護保険施設等に対して調査票を送付し、平成26年6月1日現在の入所（入居）申込状況について回答を得ました。

集計にあたっては、調査票に記載の情報について、平成26年5月末日の住民基本台帳および介護保険システムと突合し、年齢、性別、要介護度、居所等について、より正確な情報となるように努めました。

### ○（参考）調査対象施設

施設種別	施設数	
特別養護老人ホーム	17	(地域密着型2施設を含む)
介護老人保健施設	9	
介護療養型医療施設	6	
特定施設(介護付き有料老人ホーム等)*	23	(地域密着型12施設を含む)
認知症高齢者グループホーム	45	
ケアハウス	4	
計	104	

\*「特定施設(介護付き有料老人ホーム等)」:特定施設入居者生活介護事業所の指定を受けている、有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅・ケアハウス(入所措置が必要な養護老人ホームは調査対象から除外)

### 3 調査結果

#### (1) 調査結果の概要

総申込者 6,011 人について、申込状況を集計した結果、重複等を除いた有効申込者数は 2,210 人となりました（表 1）。

施設ごとの有効申込者数をみると、特別養護老人ホームが 2,038 人と最も多く、全体の 9 割強を占めました。その他の施設については合計で 172 人の申込者がいる一方で、介護療養型医療施設、認知症高齢者グループホーム、特定施設、ケアハウスではいくつかの施設で申込者無しとの回答がありました。

表 1 調査結果の概要

入所申込先	総申込者	内訳						
		①重複	②死亡	③市外	④不明	⑤施設間重複	⑥入所済	⑦有効申込者
特別養護老人ホーム	5,561	1,820	962	469	47		225	2,038
老人保健施設	109	7	11	27	0	27	1	36
介護療養型医療施設	19	0	2	5	0	4	3	5
認知症高齢者グループホーム	156	25	20	6	2	37	13	53
特定施設(介護付有料老人ホーム等)	88	4	5	8	0	18	4	49
ケアハウス	78	1	1	16	4	26	1	29
合計	6,011	1,857	1,001	531	53	112	247	2,210

#### ○ (参考) 集計手順

手 順	内 容
①重複	総申込者(6,011 人)から同一種別の施設に 2 か所以上の申し込みをしている者(1,857 人)を「重複」として除く。
②死亡	「死亡」が確認された者(1,001 人)を除く。
③市外	「市外」に住所がある者(531 人)を除く(ただし、当市の被保険者であって市外にいる者はこれに含まない。)
④不明	住民基本台帳および介護保険システムにおいて突合できなかった者(53 人)を「不明」として除く。
⑤施設間重複	異なる種別の施設に2か所以上申し込みをしている者の入所申込先を、特別養護老人ホームに申し込みをしている者は特別養護老人ホームに、それ以外の者は入所申込時期の一番新しい施設に、それぞれ確定したうえで、重複分(112 人)を「施設間重複」として除く。
⑥入所済	申込先と同一種別施設に入所済の者(247 人)を除く。
⑦有効申込者	総申込者から①～⑥の順に除いた者を「有効申込者」とする。(2,210 人)

(2) 緊急度別入所（入居）申込者数

有効申込者について、申込施設ごとに居場所別・要介護度別に分け、以下の「入所（入居）申込者の緊急度の考え方」に基づき、緊急度別入所（入居）申込者数を整理しました（表2）。

○入所（入居）申込者の緊急度の考え方

- ・緊急度「高」～在宅で生活する方や入院している方のうち、在宅生活が困難と考えられる要介護度の高い方
- ・緊急度「中」～在宅で生活する方や入院している方のうち、要介護度が中程度で在宅生活が困難と考えられる方や、居住系施設に入居している方で、要介護度が悪化し、より高度な介護サービスを必要とする状態となった方
- ・緊急度「低」～既に介護保険3施設に入所している方や居宅サービスを利用しながら在宅生活を継続することが可能と考えられる要介護度の低い方

居場所	介護度		
	軽度 (~介護1)	中度 (介護2・3)	重度 (介護4・5)
在宅・入院		中	高
居住系施設	低		中
介護保険3施設	低		

この結果、緊急度が高い方は356人、緊急度が中程度で「在宅・入院」の方は396人、「居住系施設」に入居の方は153人、緊急度が低い方は1,305人となりました。

表2 緊急度別入所（入居）申込者数

現在の居場所		軽度				中度		重度		合計	緊急度	申込者数
		認定無し	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
在宅・入院	在宅	121	74	68	176	172	175	136	116	1,038	高	356
	病院	6	3	1	18	23	26	41	63	181		
居住系施設	養護老人ホーム	22	19	13	22	11	1	11	2	101	中	153
	ケアハウス	5	8	6	5	4	0	1	0	29		
	生活支援ハウス	4	4	1	0	1	0	0	0	10		
	認知症高齢者グループホーム	0	0	0	12	31	35	41	15	134		
	特定施設（介護付き有料等）	0	5	8	30	23	23	26	19	134		
	有料老人ホーム	4	0	2	8	14	6	6	7	47		
	サービス付き高齢者向け住宅	0	1	1	9	13	13	4	3	44		
	その他施設	1	2	3	5	8	12	9	9	49		
	介護保険3施設	特別養護老人ホーム	0	0	0	0	0	0	1	4		
老人保健施設	0	0	0	55	70	84	89	74	372			
介護療養型医療施設	0	0	0	0	1	3	19	43	66			
合計		163	116	103	340	371	378	384	355	2,210	低	1,305
合計											2,210	

#### 4 緊急度別入所（入居）申込者数の推計

##### (1) 平成26年度

次に、平成26年度末までに新たに受け入れが可能となる特別養護老人ホーム83床分について、居場所が「在宅・入院」である方が入所するとして平成26年度の緊急度別入所（入居）申込者数を推計しました（表3）。

この結果、平成26年度における緊急度が高い方は305人、緊急度が中程度で「在宅・入院」の方は366人、「居住系施設」に入居の方は153人、緊急度が低い方は1,303人となります。

表3 緊急度別入所（入居）申込者数の推計（平成26年度）

現在の居場所		軽度				中度		重度		合計	緊急度	申込者数
		認定無し	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
在宅・入院	在宅	121	74	68	174	164	156	113	102	972	高	305
	病院	6	3	1	18	22	24	34	56	164		
居住系施設	養護老人ホーム	22	19	13	22	11	1	11	2	101	中	在宅・入院 居住系施設
	ケアハウス	5	8	6	5	4	0	1	0	29		
	生活支援ハウス	4	4	1	0	1	0	0	0	10	低	1,303
	認知症高齢者グループホーム	0	0	0	12	31	35	41	15	134		
	特定施設（介護付き有料等）	0	5	8	30	23	23	26	19	134		
	有料老人ホーム	4	0	2	8	14	6	6	7	47		
	サービス付き高齢者向け住宅	0	1	1	9	13	13	4	3	44		
	その他施設	1	2	3	5	8	12	9	9	49		
介護保険3施設	特別養護老人ホーム	0	0	0	0	0	0	1	4	5	合計	2,127
	老人保健施設	0	0	0	55	70	84	89	74	372		
	介護療養型医療施設	0	0	0	0	1	3	19	43	66		
合計		163	116	103	338	362	357	354	334	2,127		

なお、当該83床分は、第5期計画において整備した特別養護老人ホームの要介護度別入所者割合、特別養護老人ホームの入所申込者のうち居場所が「在宅・入院」の方の「在宅」と「病院」の要介護度別人数割合に応じて按分し、3(2)の『緊急度別入所（入居）申込者数』から差引いて見込みました。

(2) 平成 29 年度

最後に、第6期介護保険事業計画期間の最終年度である平成 29 年度における入所（入居）申込者数について、要介護認定者数の推計に合わせて入所（入居）申込者数を推計しました（表4）。

この結果、平成 29 年度における緊急度が高い方は 304 人、緊急度が中程度で「在宅・入院」の方は 396 人、「居住系施設」に入居の方は 155 人、緊急度が低い方は 1,467 人となる見込みです。

表4 緊急度別入所（入居）申込者数の推計（平成29年度）

現在の居場所		軽度			中度			重度		合計	緊急度	申込者数
		認定無し	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
在宅・入院	在宅	135	92	75	215	170	176	122	94	1,079	高	304
	病院	7	4	1	22	23	27	36	52	172		
居住系施設	養護老人ホーム	25	24	15	27	11	1	12	2	117	中	在宅・入院 居住系施設
	ケアハウス	6	10	7	6	4	0	1	0	34		
	生活支援ハウス	4	5	1	0	1	0	0	0	11	低	1,467
	認知症高齢者グループホーム	0	0	0	15	32	39	44	14	144		
	特定施設（介護付き有料等）	0	6	9	36	24	26	28	17	146		
	有料老人ホーム	4	0	2	10	15	7	6	6	50		
	サービス付き高齢者向け住宅	0	1	1	11	13	15	4	3	48		
	その他施設	1	2	3	6	8	14	10	8	52		
	合計	182	144	114	416	375	403	380	308	2,322		
介護保険3施設	特別養護老人ホーム	0	0	0	0	0	0	1	4	5	合計	2,322
	老人保健施設	0	0	0	68	73	95	96	68	400		
	介護療養型医療施設	0	0	0	0	1	3	20	40	64		

5 調査結果を踏まえた介護サービス基盤整備の考え方

これらの結果を踏まえ、第6期介護保険事業計画の介護サービス基盤整備のあり方について、平成 29 年度における入所（入居）申込者のうち、緊急度が高い方 304 人分への対応を優先的に検討するとともに、可能な限り在宅での生活を続けることができるよう支援するための体制の整備や、給付と負担のバランス、介護保険料への影響等も考慮しながら、適切なサービス量を見込みます。